

取扱説明書

ユニット型防振材 TSU-L

このたびは当社「ユニット型防振材 TSU-L」(以下製品)をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
お求めの製品を正しく安全にご利用いただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただきますようお願いいたします。

この取扱説明書は、工事完了後保守点検管理ご担当者にお渡しください。
なお、当社製品に関するお取扱上のご質問・ご相談などがございましたら、最寄の事業所までお問合せください。
※当取扱説明書は、予告なく内容を変更する事がありますので、あらかじめご了承ください。

TOZEN
A joint reliance

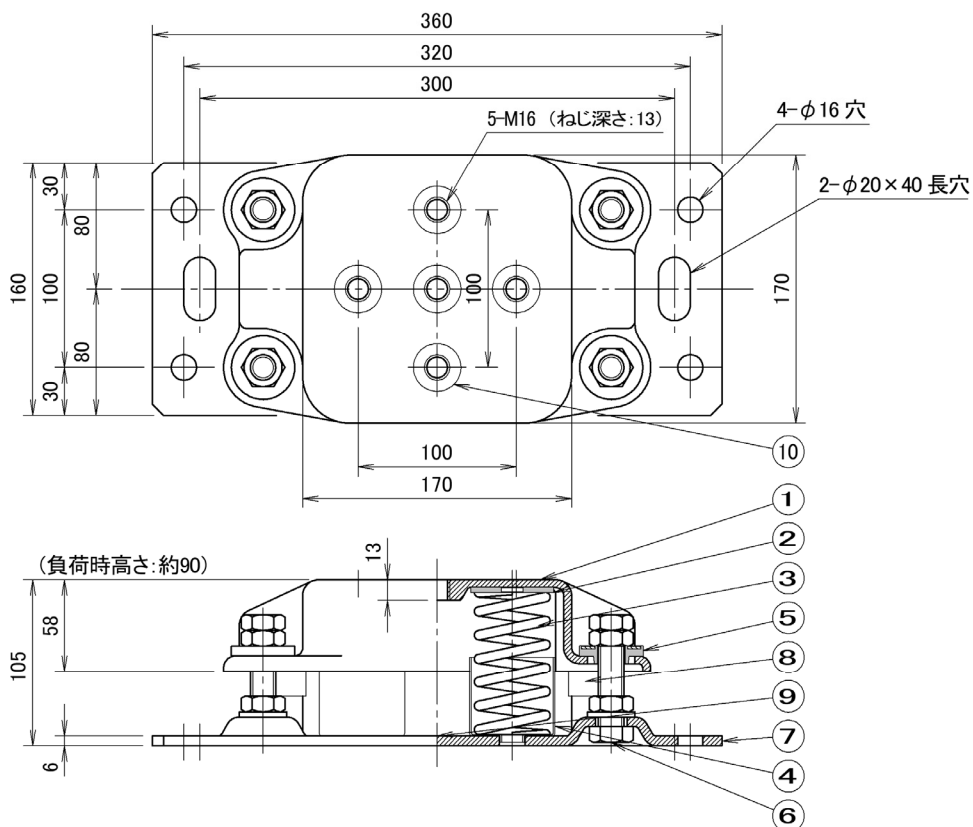
株式会社 TOZEN

東日本事業所: TEL 050-3538-2091 (代) FAX 050-3538-2094

西日本事業所: TEL 06-6578-0310 (代) FAX 06-6578-0312

URL <https://www.tozen.co.jp/> E-mail sales@tc.tozen.com

1 構造と寸法



番号	部品名称	材質
1	上カバー	FCD450相当(溶融亜鉛メッキ)
2	ゴムシート	合成ゴム (EPDM)
3	コイルスプリング	硬鋼線 (黒色粉体塗装)
4	吸振体カバー	合成樹脂 (PP)
5	ゴムブッシュ(座金付)	合成ゴム (NR/SBR) / SS400
6	ストッパー	SS400相当(溶融亜鉛メッキ)
7	ベースプレート	SS400相当(溶融亜鉛メッキ)
8	緩衝材	合成発泡ゴム (EPDM)
9	銘板ステッカー	アルミ箔
10	防滴ステッカー	アルミ箔

製品型番	ばね定数 N/mm (kgf/mm)	使用荷重範囲 kN (kgf)
TSU-200L	113 (11.5)	1.18 ~ 1.96 (120 ~ 200)
TSU-350L	195 (19.9)	1.96 ~ 3.43 (200 ~ 350)
TSU-600L	336 (34.3)	3.43 ~ 5.88 (350 ~ 600)
TSU-1000L	561 (57.2)	5.88 ~ 9.81 (600 ~ 1000)
TSU-1500L	839 (85.6)	9.81 ~ 14.7 (1000 ~ 1500)
TSU-2000L	1118 (114)	14.7 ~ 19.6 (1500 ~ 2000)

◆耐震仕様: 水平方向 2.0G、鉛直方向 1.0G

◆溶融亜鉛めっき仕様: HDZ-45

2 使用上の注意事項

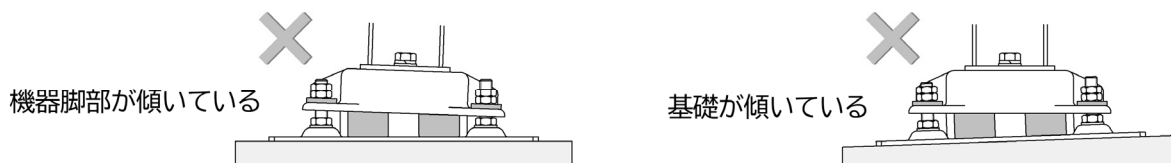
- (1) ご使用前に、製品の損傷が無いかご確認ください。
- (2) 製品を無理に変形させたり、分解しないでください。
- (3) 使用荷重範囲について
 - ・ 鋼材や機器など、製品にかかる荷重が適正荷重内であることを確認の上ご使用ください。
 - ・ 使用荷重範囲を超えての使用は、防振効果の低下や製品の損傷など不具合の原因となります。
- (4) 油脂・有機溶剤(シンナー・トルエン等)・酸・アルカリなどが付着しないように注意してください。万一、付着した場合は速やかに拭き取ってください。
- (5) 火気には充分にご注意ください。製品の付近で溶接・切削などの作業を行う場合は、火花がかからないよう、また熱が伝わらないよう、ご配慮ください。

3 保管上の注意事項

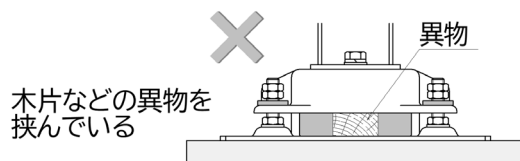
- (1) 運搬中・保管中に、製品に損傷を与えないよう充分にご注意ください。また、損傷などがある場合は使用しないでください。
- (2) 長期間保管する場合は、暗室などに保管し直射日光を避けてください。
- (3) 温度 40°C 以上および過度の湿度、水分のある場所に長時間放置しないでください。
- (4) 製品に火気があたらないよう充分にご注意ください。
- (5) 製品に荷重をかけないようご注意ください。
- (6) 製品に油脂・有機溶剤(シンナー・トルエン等)・酸・アルカリなど製品を劣化させるような物質が付着するおそれのある場所に保管しないでください。

4 施工上の注意事項

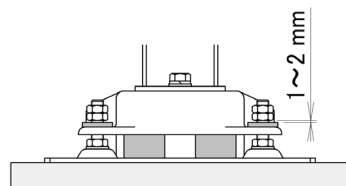
- (1) ご使用の際は重心配置を行い、製品に均一に荷重がかかるように考慮して施工してください。また、製品にかかる荷重が許容荷重を超えないようにご注意ください。停止時と運転時の荷重が変わる場合は特にご注意ください。
- (2) 基礎または鋼材ベースは水平に施工してください。やむを得ず水平になっていない場合はスペーサーなどで調整してください。また、丸型クーリングタワーなど荷重の偏りや脚部形状によって製品が傾く恐れがある場合は、鋼材などの共通ベースを製品の上に通してからご使用ください。



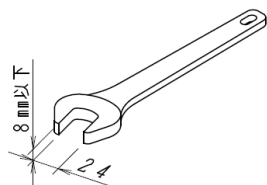
- (3) 製品に異物が挟まっていないことをご確認のうえ、機器等を積載してください。



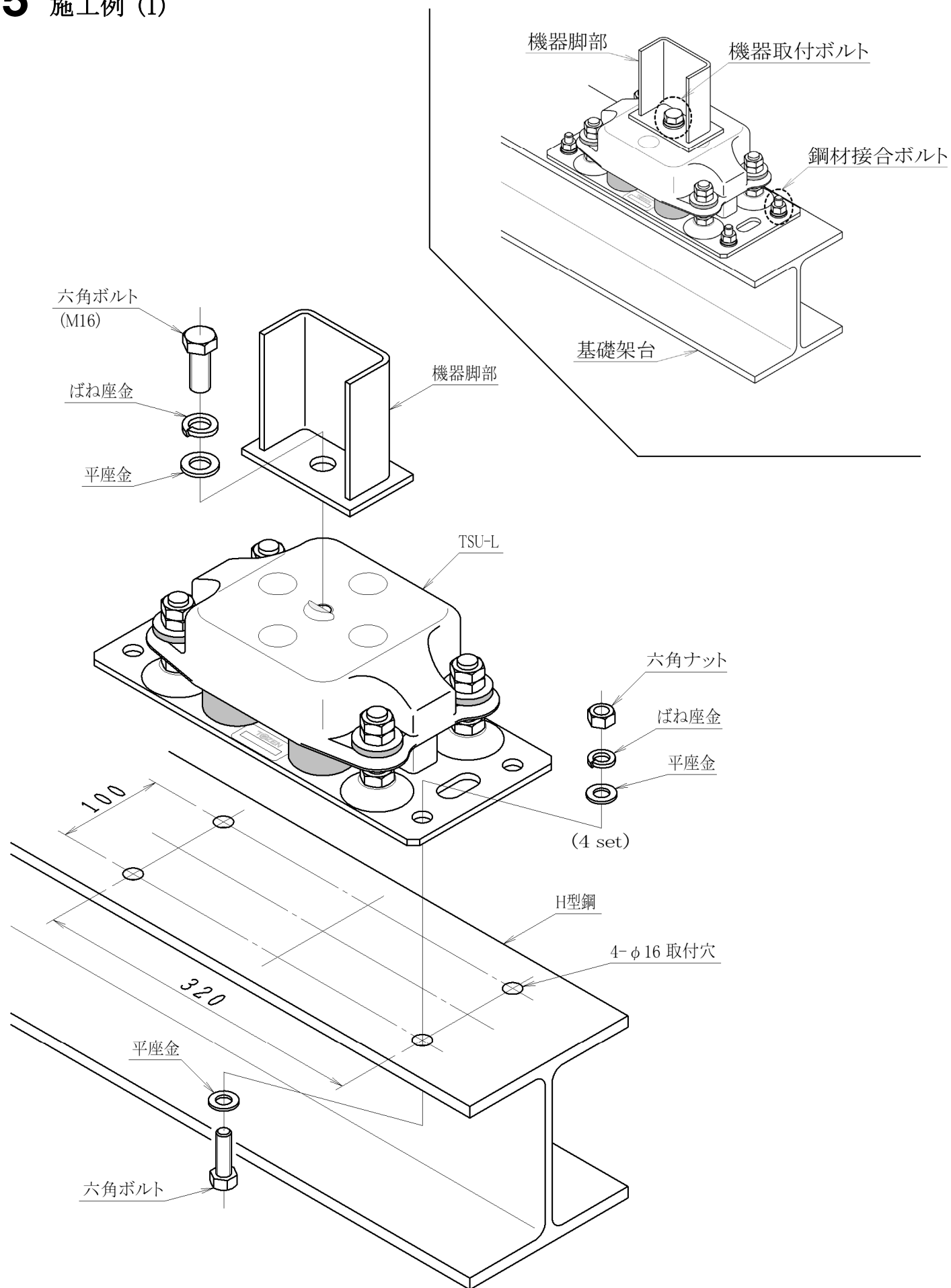
- (4) 機器または共通ベース積載前に、製品の機器取付穴のシールを剥がしてください。(ご利用にならない部分は剥がさずにご使用ください)
- (5) 機器積載後、ゴムブッシュとナットの間には 1~2mm のすきまができるようにしてダブルナット締めを行ってください。



- (6) ストッパーのダブルナット施工時には薄型スパナをご用意ください。

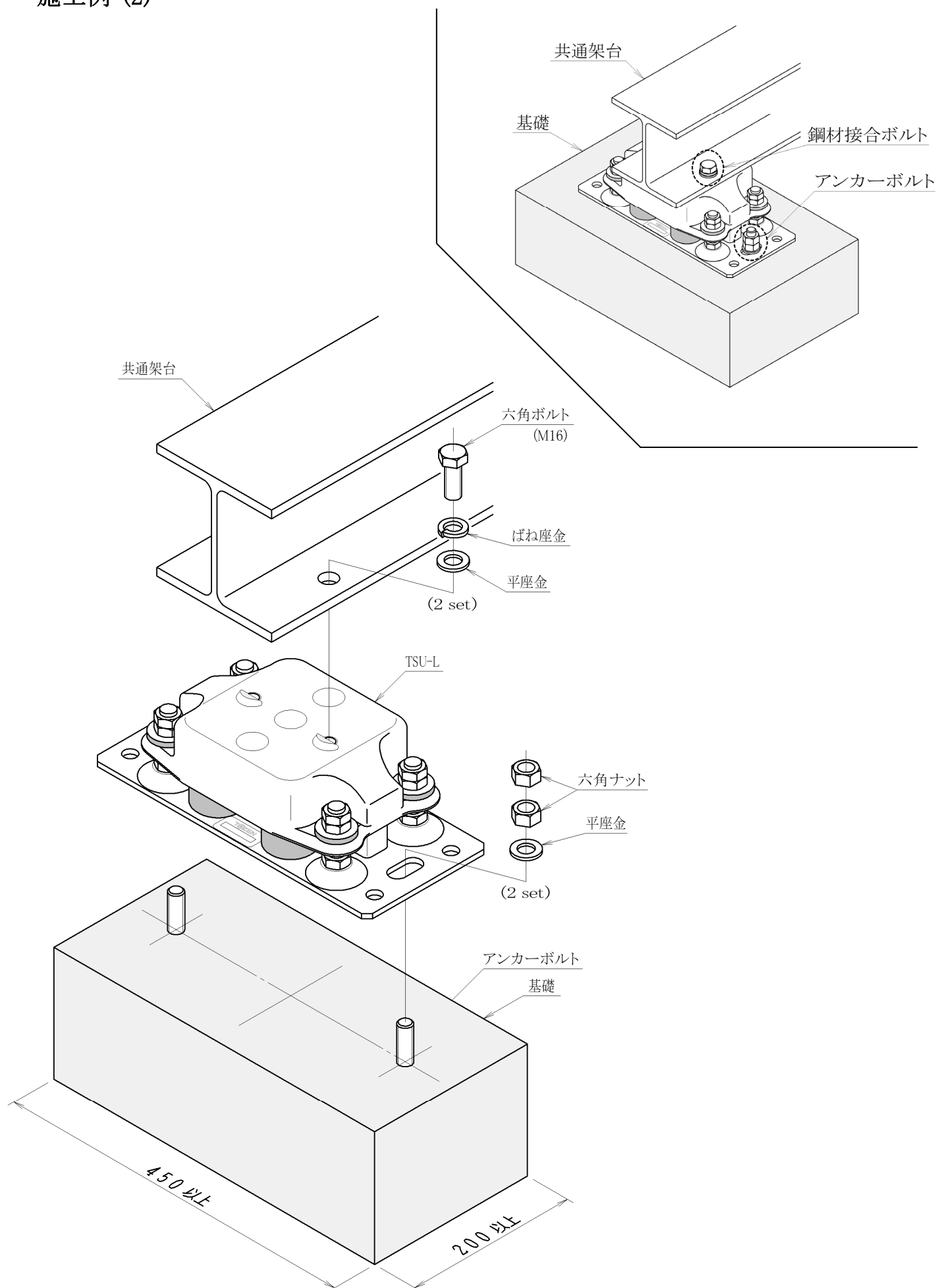


5 施工例 (1)



※ 鋼材接合ボルト、機器取付ボルトは付属しておりませんので、先様にてご手配願います。
機器取付ボルト長さは、締結部材(機器脚部、平座金など)厚さ+15 mm で選定してください。

施工例 (2)



※ アンカーボルト、鋼材接合ボルトは付属しておりませんので、先様にてご手配願います。
 機器取付ボルト長さは、締結部材(機器脚部、平座金など)厚さ+15 mm で選定してください。